

沼田市舗装長寿命化修繕計画



< 背景・目的 >

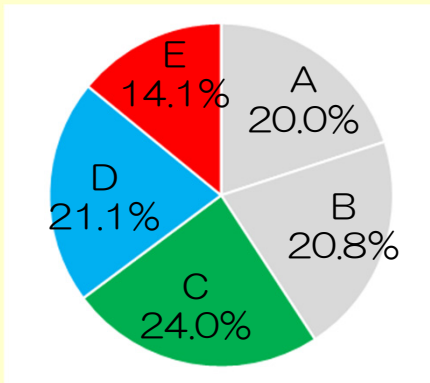
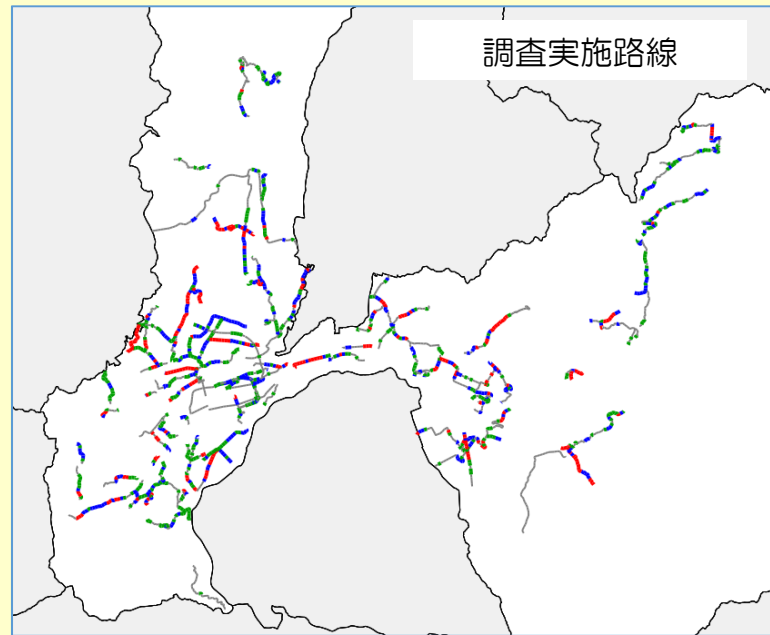
沼田市が市道として認定している道路は約1,413kmあり、舗装は車両の通行や自然環境により、わだち掘れやひび割れ等が発生し劣化していきます。それにより道路利用者や沿道住民の安全性や快適性が損なわれることから、定期的な維持修繕によりその性能を維持することが必要です。

これまで本市においては、修繕要望の多い箇所について優先的に維持修繕管理を行ってきました。今後、限られた予算の中で適切な時期に全ての箇所を修繕することは困難であり、安全で快適な道路環境を維持することができなくなっています。

そのため定期的に路面の状態を調査し、その結果を基に長期的視点にたった舗装修繕計画を作成し、トータルコストの削減と予算の平準化による計画的な舗装の維持管理を実現します。

< 舗装の状況 >

令和2年度及び令和3年度に沼田市が管理する主要な道路、100路線（約177km）について舗装の劣化状況を調査しました。調査は「ひび割れ」、「わだち掘れ」、参考値として「平坦性」について行い、舗装の健全度を評価すると下記の結果となりました。



健全度	路面の状態
A	舗装が新しく望ましい状態
B	望ましい状態
C	一部破損がある状態
D	損傷がある程度進んだ状態で修繕が必要
E	損傷が著しい状態で早急に修繕が必要

ひび割れ：63%
わだち掘れ：15mm



ひび割れ：71%
わだち掘れ：21.8mm



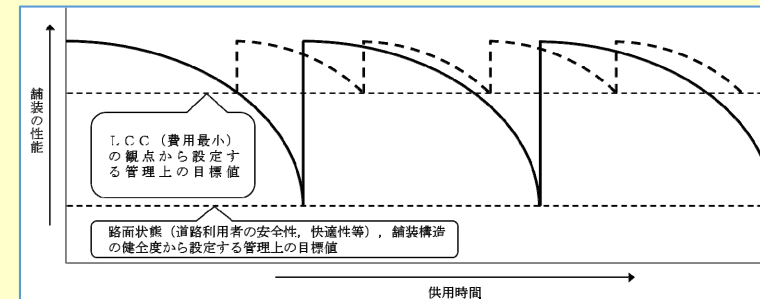
ひび割れ：65%
わだち掘れ：19.8mm



< 路面性状調査による舗装状況 >

< 基本方針 >

- メリハリのある効果的な舗装の維持管理により、より安全で走り易い道路を市民に提供する。
- 舗装の維持管理に必要な事業費を事前に把握することで長期的な予算計画を行い、計画的な予算確保に努めるとともに、予算のピークを分散し安定的な修繕需要と舗装の管理水準（管理上の目標値）を維持する。
- 路線の重要性に応じた管理水準を定め、段階的かつ客観的な評価により計画的に修繕する。
- 路面性状調査結果及び日常的な舗装管理業務で生成される各種情報を蓄積する管理システムを構築し継続的に更新維持する。
- 市内の主要な道路については、定期的に機械による路面性状調査、舗装管理業務の取り組み状況のチェックと評価を行い、その結果を踏まえて舗装修繕計画の見直しを行うPDC Aサイクルを構築する。その他の道路については、日常の道路パトロールによる点検情報や市民からの通報を受けて目視調査を行い、その結果に基づいて評価し計画的に維持管理する。
- 安全性に支障をきたすような損傷については、緊急対応をそのつど実施し安全確保を優先する。



「舗装設計施工指針（平成18年版）より」

←管理水準（管理上の目標値）の設定の概念

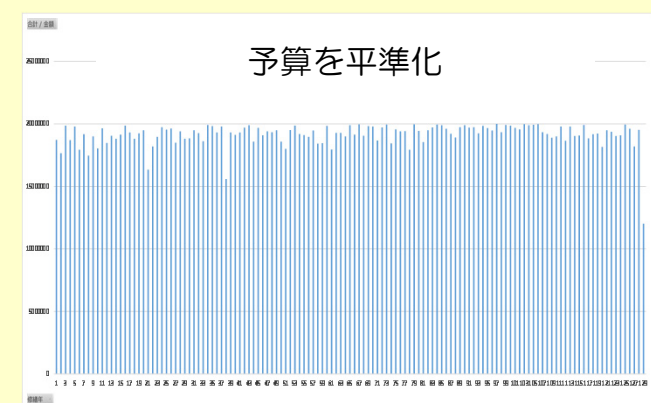
< 舗装長寿命化修繕計画 >

舗装修繕の優先順位は、次の項目を組み合わせた評価により決定します。

- ① 舗装路面の損傷状態（MCI値）
- ② 道路特性（道路の利用状況）
- ③ 社会的要因（苦情・要望）

評価は、評価項目ごとに重要度を加味した評価点を定め、その合計得点により評価します。

維持修繕工法の選定は、路面性状調査結果を踏まえ、破損の状態（路面、構造）、破損の程度、交通量区分等を評価した上でLCCが最小となる工法を選定し、予算の平準化を行います。



< 舗装長寿命化修繕計画の見直し >

本計画は、舗装調査時点の計画であり、その後においても点検調査を定期的の実施し、その結果を踏まえて計画の見直しを行っていきます。

本市では、新しい技術を積極的に導入し、トータルコストの削減と予算の平準化による計画的経済的な舗装の維持管理を実現します。